

■  $p > 1$  を与えて,

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} = 1$$

により  $q$  を定めるとき, すべての  $x, y \geq 0$  に対して

$$xy \leq \frac{x^p}{p} + \frac{y^q}{q}$$

が成り立つことを示せ.

(解)  $p, q$  は

$$q = \frac{p}{p-1} = 1 + \frac{1}{p-1} > 1, \quad (q-1)p = \frac{p}{p-1} = q$$

をみたくことに注意したい. また,  $xy = 0$  のときには, 示すべき不等式は明らかに成り立つので, 以下では  $x > 0, y > 0$  の場合を考える.

(解答 1)  $y > 0$  を任意に取り固定する. 関数  $f(x)$  を

$$f(x) = \frac{x^p}{p} + \frac{y^q}{q} - xy$$

により定義すると,

$$f'(x) = x^{p-1} - y \begin{cases} < 0 & (0 < x < y^{q-1}) \\ = 0 & (x = y^{q-1}) \\ > 0 & (x > y^{q-1}) \end{cases}$$

より,  $x \geq 0$  の範囲において  $f(x)$  は  $x = y^{q-1}$  で最小値を取る.

$$f(y^{q-1}) = \frac{(y^{q-1})^p}{p} + \frac{y^q}{q} - y^{q-1} \cdot y = \left( \frac{1}{p} + \frac{1}{q} - 1 \right) y^q = 0$$

より, すべての  $x, y \geq 0$  に対して

$$xy \leq \frac{x^p}{p} + \frac{y^q}{q}$$

が成り立つ.

(解答 2)  $f(x) = x^{p-1}$  とおくと,  $y = f(x)$  の逆関数  $x = g(y)$  は  $g(y) = y^{1/(p-1)} = y^{q-1}$  であるから,

$$xy \leq \int_0^x f(t) dt + \int_0^y g(t) dt = \left[ \frac{t^p}{p} \right]_0^x + \left[ \frac{t^q}{q} \right]_0^y = \frac{x^p}{p} + \frac{y^q}{q}$$

が成り立つ. ■